



伝説の巨大遊廓「東雲楼」の内部復元図 (画・古場田博)

かつてこの町に 巨大遊廓が あった

澤宮優
Sawamiya Yu

熊本・二本木の歴史と記憶をたずねて



四六判並製・216ページ
ISBN978-4-907902-40-7
定価:1,900円+税

澤宮優…ノンフィクション作家。1964年熊本県生まれ。日本文藝家協会、文化財保存全国協議会、肥後考古学会。日陰で生きる人々に光を当てるというテーマで、スポーツから歴史、民俗、文学まで幅広く執筆。『巨人軍最強の捕手』(晶文社)で第14回ミズノスポーツライター賞優秀賞受賞。主な著書に『イラストで見る昭和の消えた仕事図鑑』(角川ソフィア文庫)、『集団就職』(弦書房)、『戦国鹿城紀行』(河出文庫)、『世紀の落球』(中央公論新社・第3回野球文化学会賞)、『昭和十八年 幻の箱根駅伝』(ともに集英社文庫)、『暴れ川と生きる』(忘羊社)、『天守のない城をゆく』(青土社)、『あなたの隣にある沖縄』(集英社文庫)など多数。

〈遊廓のストライキ〉が
起きたとされる伝説の町で、
遠ざかる記憶に耳を傾ける。

明治から戦後にかけて、軍都・熊本の隆盛とともに栄えた二本木遊廓。そこには、広大な庭園と大小の楼閣を有した巨大妓楼「東雲楼」が君臨した。待遇の過酷さに娼妓らの逃亡が頻発し、ついに日本初のストライキが起きたとされる伝説の地を訪ね、古老たちの証言や資料を渉猟しながら綴った渾身の作！

近代の光と影を背負った “人間の町”の物語。

「二本木遊廓が全国に知られるきっかけとなったのが、明治三十三年(一九〇〇)に起きたとされる『東雲のストライキ』である。二本木遊廓でもっとも豪華な東雲楼の娼妓約五〇人が、待遇改善や自由廃業を求めて接客を放棄し、立て籠ったと伝えられる事件である。彼女たちが歌った『東雲節』は全国に広がり、小学生まで口ずさんだと言われている。…二本木遊廓も他の遊廓同様、負の側面を持っている。私は、かつて栄華を誇った西日本随一の二本木遊廓を通して日本近代の光と影を掘り下げ、その歴史を正しく、ありのまま未来に伝えていくことは一つの責務であり、このままでは二本木遊廓の歴史そのものが忘れ去られてしまつと危機感を抱いた」(序章より)

番線	注文数	日付	お名前	新刊 (近現代史・ノンフィクション)	ISBN978-4-907902-40-7
	冊	/	様	かつてこの町に巨大遊廓があった	本体 1,900円 + 税
				熊本・二本木の歴史と記憶をたずねて	
 ぼう よう しゃ 忘羊社		〒810-0033 福岡市中央区薬院4-8-28 ▶TEL 092 (406) 2036 ▶FAX 092 (406) 2093			